

監督者会議での申し合わせ事項等

- 今回は、一般男子で例年計量時に手の甲に番号をマジックで書いていたが書かないこととした。理由は、参加者が少なかったことによりゼッケンを最後まで同じ人が付けることとしゼッケンと出場選手確認表の番号を合わせることで個人が特定できるので書かないこととした。
- 試合が膠着状態等(引っ張り合って動かないなど)になった時の審判の判定について、まったく動かない状態が続くようであれば一旦中断し再試合、どちらかのチームが引いているようであれば、引いている方の勝ちとすることとした。
- 当日人員が減って、競技人数の6人より減った場合はどうするか。
対戦相手の了承を得て実施することとした。実施要項では一般男子について450kg以内であれば6名以下でも可とする。と記載している。
また、一般女子についても同じ取扱いをすることとした。
- 競技中、突発的な怪我などが生じた場合は、審判の判断で勝敗を決めることができる。その場合、怪我をしたチームが多く引いていたとしても負けとなる。
- 故意ではなくても反則行為となる場合があるが、大木町ルールとしてなるだけ反則にはせず口頭で注意しながら最後まで引いてもらう方針を伝えた。それとともに審判のジャッジには従っていただくようお願いした。